

# 学校法人日本体育大学

日本体育大学社会貢献推進機構

## 自己点検・評価報告書

(平成 29 年)

平成 30 年 2 月 8 日

(内容 平成 29 年 1 月～12 月)

日本体育大学社会貢献推進機構

スポーツプロモーション・オフィス

## 日本体育大学の概要

設置者	学校法人 日本体育大学
理事長	松浪 健四郎
学 長	具志堅 幸司
体育学部長	松井 幸嗣
スポーツ文化学部長	八木沢 誠
児童スポーツ教育学部長	久保 健
保健医療学部長	平沼 憲治
開設年月	昭和 24 年 4 月
所在地	東京・世田谷キャンパス 東京都世田谷区深沢 7-1-1 横浜・健志台キャンパス 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町 1221-1

## 設置学部・学科及びコース並びに入学定員

学部	学科・コース	入学定員	収容定員
体育学部	体育学科	750	3,000
	健康学科	195	780
	武道学科(募集停止H29.4)	120	480
	社会体育学科	195	780
	合計	1,260	5,040
(平成 29 年 5 月 1 日現在 4,920)			
スポーツ文化学部 (平成 29 年 4 月開設)	武道教育学科	100	400
	スポーツ国際学科	100	400
	合計	200	800
(平成 29 年 5 月 1 日現在 200)			
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育学科		
	児童スポーツ教育コース	150	600
	幼児教育保育コース	50	200
	合計	200	800
保健医療学部	整復医療学科	90	360
	救急医療学科	80	320
	合計	170	680
総合計		1,830	7,320
(平成 29 年 5 月 1 日現在 6,600)			

## 評価指標

基準	テーマ	評価の観点	
生涯スポーツ社会の構築 健康で豊かな	1 学内組織の整備と事業方針及び事業計画の明確化	①	地域社会への貢献活動を推進する学内組織の構築と実施体制の整備
		②	建学の精神に基づく事業方針・計画の明確化と学内における共通認識の醸成に向けた取り組みの推進
	2 地域との連携体制の構築及び地域志向の教育課程編成	①	貢献活動に関する実効性のある地域社会との連携体制の構築
		②	地域志向の人材育成と貢献活動に繋がる教育課程の編成
	3 地域の課題解決に向けた効果的なプログラムの実施と貢献活動の推進	①	地域課題の発掘・解消に資する調査・研究を促進し、課題解決に繋がる実効性のあるプログラムを開発
		②	人的・物的資源を活かした公開講座等の実施
		③	ボランティア活動の推進と人材育成への取り組みの充実
		④	地域の美化、防災力の向上を図る取り組みの推進

### 【ポイント】

#### 1-① 地域社会への貢献活動を推進する学内組織の構築と実施体制の整備

学則・組織規程等に社会貢献を主たる任務とした組織が明確に規定されているか。また、実施体制としての組織が整備されているか。

#### 1-② 建学の精神に基づく事業方針・計画の明確化と学内における共通認識の確立

建学の精神、ミッション・ビジョンを踏まえた方針であるか。また、その方針を踏まえた計画が立案されているか。加えて、それらを学生・教職員に周知徹底するための方策が施されているか。

#### 2-① 貢献活動に関する実効性のある地域社会との連携体制の構築

キャンパスが立地する地域の自治体等との連携関係を構築できているか。また、大学と地域が連携して事業を推進する仕組みが備わっているか。

#### 2-② 地域志向の人材育成と貢献活動に繋がる教育課程の編成

キャンパスが立地する地域の体育・スポーツに関する課題等を学生が学習するとともに、その課題解決に資する取り組みを推進することの意義を理解させる教科目が設定されているか。また、その学習を通じた学生の理解度及び貢献活動に対する意識の向上が図れているか。さらに、それらを検証、改善する仕組みが整っているか。

#### 3-① 地域課題の発掘・解消に資する調査・研究を促進し、課題解決に繋がる実効性のあるプログラムを開発

東京都世田谷区及び青葉区を中心とした横浜市が抱える体育・スポーツに関する課題の抽出に努めるとともに、課題解決に資する研究活動を促進して健康の維持増進、スポーツ文化の向上、生涯スポーツの進展等を意図したプログラムを検討、具体性のある企画を立案して実行しているか。

#### 3-② 人的・物的資源を活かした公開講座等の実施

大学が有する人材等の資源を活用して、地域課題解決に資する公開講座等を開講しているか。

#### 3-③ ボランティア活動の推進と人材育成への取り組みの充実

地域社会からのボランティア要請等に積極的に対応するとともに、それらの活動と教育課程の連動を図った人材育成に繋げているか。

#### 3-④ 地域の美化、防災力の向上を図る取り組みの推進

地域社会と連携し、地域の美化に努めるとともに、地域住民を巻き込んだ防災力の向上に努めているか。

## ○ 自己点検・評価

### □ 評価基準

健康で豊かな生涯スポーツ社会の構築

#### 〈テーマ1 学内組織の整備と事業方針及び事業計画の明確化〉

##### 評価の観点

- (1) 地域社会への貢献活動を推進する学内組織の構築と実施体制の整備
- (2) 建学の精神に基づく事業方針・計画の明確化と学内における共通認識の醸成に向けた取り組みの推進

##### (評価のポイント)

- 1- (1) 組織規程等に社会貢献を主たる任務とした組織が明確に規定されているか。また、実施体制としての組織が整備されているか。
- 1- (2) 建学の精神、ミッション・ビジョンを踏まえた方針であるか。また、その方針を踏まえた計画が立案されているか。加えて、それらを学生・教職員に周知徹底するための方策が施されているか。

##### 【事実の説明】

- (1) 組織規程第13条に規定された日本体育大学社会貢献推進機構は、これまで、学長を機構長、企画・管理・運営担当の副学長を副機構長として、外部団体等との連携を促進する連携推進担当及び教育充実・人材育成を図る教育開発担当並びに研究活動を展開させる研究開発担当、さらには四学部長及び両キャンパスのマネージャー並びに事務担当のスポーツプロモーション・オフィスのスタッフを構成員とした組織構成としていたが、全学的な活動を展開していることから、大学院研究科長及び平成30年4月開設のスポーツマネジメント学部長、さらには附置機関長及び事務局長等を構成員に加える規程改正を平成30年4月1日施行として行った。また、運営戦略会議の構成員としては、必要に応じて大学院研究科長あるいは附置機関等の関係者を機構長が招集することとしている。

なお、運営戦略会議及び地域社会連携本部会議において方針等を決定するにあたり、基本的な考え方や具体案を検討するために、「地域教育活動委員会」、「地域研究活動委員会」、「地域社会貢献活動委員会」の三つの分野別委員会を設置して運営している。

〔エビデンス集・資料集＝1-(1)-1、1-(1)-2、1-(1)-3、1-(1)-4〕

- (2) 建学の精神を踏まえた事業方針を「地域(東京都世田谷区、青葉区を中心とした横浜市)の課題及びニーズの抽出を情報収集や研究活動を通じて積極的に行い、これらの課題の改善・解消あるいはニーズに応える各種の取り組みの開発に努め、全学的に対応している。加えて、これらの活動を通じた質の高い人材育成を実現するため本学独自の資格制度(CSC=Community Sport Coordinator)の開発・創設を教育改革によって具現化し、地域・社会貢献活動の活性化を継続的に推進するとともに、全学的な周知徹底はもちろんのこと、対社会に向けた情報発信に努めている。将来的には、本学が有する校友会組織と連携し、事業を全国的に展開するとともに、卒業生が活躍できる場の創出を実現する。」と定め、これに沿った事業計画を決定した。

本学のホームページ上にこれを公開、機関誌「T-Lion Voice Home 第5号」にも掲載し

て周知を図っている。また、事務職員については、事務連絡協議会の際に各種の取組と合せて周知をしている。学生については、6月5・6日、6月8・9日に実施された教職支援センター主催の教員免許取得希望者ガイダンスにおいて社会貢献に関する取り組みの解説等を行い、人材バンクへの参画を促した。教員については、教授会報告やNICS@Webへの掲示等により周知を図っている。

[エビデンス集・資料集=1-(2)-1、1-(2)-2、1-(2)-3、1-(2)-4]

表1 日本体育大学社会貢献推進機構構成員(平成29年度)

担当	氏名	役職等	備考
機構長	具志堅 幸司	学長	体育学部教授
副機構長	松井 幸嗣	副学長(企画・管理・運営担当)	体育学部教授
連携推進担当	小林 正利	学生支援センター副センター長	体育学部教授
教育開発担当	三宅 良輔	学生支援センター長	体育学部教授
研究開発担当	野井 真吾	総合スポーツ科学研究センター長	体育学部教授
体育学部長	(松井 幸嗣)		体育学部教授 副学長(企画・管理・運営)
スポーツ文化学部	八木沢 誠		スポーツ文化学部教授
児童スポーツ教育学部長	久保 健		児童スポーツ教育学部教授
保健医療学部長	平沼 憲治		保健医療学部教授
ベースマネージャー(世)	波多腰 克晃		体育学部教授
ベースマネージャー(健)	津山 薫		体育学部教授
スポーツプロモーション・オフィス	白旗 和也	オフィスディレクター	体育学部教授
〃	大高 秀二	アシスタントオフィスディレクター	事務局次長
〃	増岡 啓彰	アシスタントオフィスディレクター	学生支援センター健志台事務室 事務長
〃	塚田 直彦	主任	
〃	岡田 順治		学生支援センター健志台事務室
〃	大久保 瞳		

表2 運営戦略会議構成員(平成29年度)

役職等	氏名	備考
機構長	具志堅 幸司	学長
副機構長	松井 幸嗣	副学長(企画・管理・運営)
副学長(教学・学生生活)	笠井 里津子	
学部長	(松井 幸嗣)	体育学部
	八木沢 誠	スポーツ文化学部
	久保 健	児童スポーツ教育学部
	平沼 憲治	保健医療学部
連携推進担当	小林 正利	学生支援センター副センター長
教育開発担当	三宅 良輔	学生支援センター長
研究開発担当	野井 真吾	総合スポーツ科学研究センター長
ベースマネージャー	波多腰 克晃	東京・世田谷キャンパス
	津山 薫	横浜・健志台キャンパス
教務委員会委員長	(笠井 里津子)	副学長(教学・学生生活)

教養教育委員会委員長	林 忠男	教養・教職科長
大学事務局長	藤野 雅博	
オフィスディレクター	白旗 和也	
その他機構長が必要と認めた者	後藤 彰	教職支援センター長
	大高 秀二	事務局次長
	西本 幸嗣	大学改革推進室長
	増岡 啓彰	学生支援センター健志台事務室事務長

表3 分野別委員会構成員(平成 29 年度)

表3-1 地域教育活動委員会(※=委員長)

氏名	学部	研究室(領域)名	備考
※ 後藤 彰	体育	教職教育	教職支援センター長
横山 順一	体育	社会福祉学	
波多腰 克晃	体育	スポーツ哲学	ベースマネージャー(世田谷)
荻 浩 三	体育	スポーツ史	アドミッションセンター長
安達 瑞保	児スポ	栄養教育学	
齋藤 雅英	スポ文化	教育心理学	
樋口 毅史	保健医療	運動器外傷学	
鈴木 健介	保健医療	医療英語	
岡本 美和子	児スポ	母子保健	児童スポーツ教育学科長
近藤 智靖	児スポ	体育科教育	教職支援センター副センター長
惠 元			IR 室長補佐
塚田 直彦			スポーツプロモーション・オフィス 主任

表3-2 地域研究活動委員会(※=委員長)

氏名	学部	研究室(領域)名	備考
依田 充代	体育	スポーツ社会学	社会体育学科長
野村 一路	体育	生涯スポーツ学	
※ 野井 真吾	体育	学校保健学	総合スポーツ科学研究センター長、研究開発担当
伊藤 雅充	体育	コーチ学	
須永 美歌子	児スポ	運動生理学	
関根 正美	体育	スポーツ哲学	オリンピックスポーツ文化研究所長
田中 信行	体育	アダプテッドスポーツ学	
中里 浩一	保健医療	運動生理学	体育研究所長
岡出 美則	スポ文化	スポーツ教育学	
新里 知佳野	スポ文化	剣道	
石井 隆憲	保健医療	スポーツ人類学	大学院研究科長
中嶋 基仁			総合スポーツ科学研究センター事務長
塚田 直彦			スポーツプロモーション・オフィス 主任

表3-3 地域社会貢献活動委員会(※=委員長)

氏名	学部	研究室(領域)名	備考
佐野 昌行	体育	スポーツ経営管理学	
大石 健二	体育	測定評価学	

根本 研	体育	バレーボール	寮監長
三宅 良輔	体育	体操	学生支援センター長、教育開発担当
津山 薫	体育	発育発達学	ベースマネージャー(健志台)
亀山 有希	児スポ	スポーツ社会学	
石井 隆士	体育	陸上競技	学友会会長
伊藤由美子	児スポ	体操	
成田 和穂	保健医療	スポーツ医学(内科系)	
津田 博子	スポ文化	ダンス・伝統芸能	
※ 白旗 和也	体育	教職教育	スポーツプロモーション・オフィス オフィスディレクター
小林 正利	体育	健康教育学	学生支援センター副センター長、連携推進担当
南部 さおり	スポ文化	スポーツ危機管理学	
大久保 瞳			スポーツプロモーション・オフィス オフィススタッフ

### 【エビデンス集・資料編】

1. 1-(1)-1 学校法人日本体育大学組織規程(抄)
2. 1-(1)-2 日本体育大学社会貢献推進機構規程(平成30年4月1日施行)
3. 1-(1)-3 運営戦略会議の議事要旨
4. 1-(1)-4 地域社会連携本部会議の議事要旨
5. 1-(2)-1 平成29年度事業方針及び事業計画
6. 1-(2)-2 ライフガイダンスマップ及びスタートブック2017
7. 1-(2)-3 日体大の地域社会貢献(NICS@Web)

### 【自己評価】

テーマ1は概ね満たしている。

ただし、現時点において分野別委員会が未開催となっている。

### 【改善・向上方策】

組織構成について、各学部を網羅し、大学院研究科や多様な附置機関、事務局等を組み入れる機構規程の改正を行ったが、今後は、教員や運動部等あるいは学生個々による活動だけでなく、分野別委員会の検討を経て、大学として取り組みの幅を拡大する工夫が求められる。

对学生については、印刷物等の充実が図られ、教員資格取得希望者ガイダンスの際に社会貢献活動に関する解説(参加者624名)を行うなどの工夫が見られる。しかし、現時点での人材バンク登録者数は419名(昨年度432名)となっており、昨年度に比して現時点でマイナス13名となっている。登録者数を増やすことができない原因を解明するとともに、社会貢献活動の事例紹介等の機会をさらに積極的に設ける等、学生の人材バンクへの登録数増加を図る取り組みを充実させなければならない。なお、平成30年度から5学部となることに伴い、建学の精神及びミッション・ビジョンの見直しが行われ、12月21日(木)の理事会において決定したことを踏まえ、平成30年度の事業方針・計画については、新たな建学の精神及びミッション・ビジョンに従って定めるよう留意する必要がある。

## 〈テーマ2 地域との連携体制の構築及び地域志向の教育課程編成〉

### 評価の観点

- (1) 貢献活動に関する実効性のある地域社会との連携体制の構築

## (2) 地域志向の人材育成と貢献活動に繋がる教育課程の編成

### (評価のポイント)

- 2- (1) キャンパスが立地する地域の自治体等との連携関係を構築できているか。また、大学と地域が連携して事業を推進する仕組みが備わっているか。
- 2- (2) キャンパスが立地する地域の体育・スポーツに関する課題等を学生が学習するとともに、その課題解決に資する取り組みを推進することの意義を理解させる教科目が設定されているか。また、その学習を通じた学生の理解度及び貢献活動に対する意識の向上が図れているか。さらに、それらを検証、改善する仕組みが整っているか。

### 【事実の説明】

(1) 東京都世田谷区(スポーツ推進担当部所管)、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団(事務局所管)、横浜市市民局(スポーツ振興部所管)、公益財団法人横浜市体育協会(地域スポーツ振興部所管)、横浜市青葉区(総務部区政推進課所管)と連携協定を締結し、各団体から地域社会連携本部会議の構成員が配置され、年2回会議を開催して事業方針・計画の検討・策定等を行っている。また、各種の取り組みを展開するにあたり、広報等の協力体制を整えるなど、綿密な連携体制を構築している。

[エビデンス集・資料集=2-(1)-1、2-(1)-2]

(2) 地域志向の授業科目については、現状では、三学部共通で「日体大の歴史」が設定されているに止まっている。平成29年4月に設置されたスポーツ文化学部では、地域志向科目として「地域社会とスポーツ」「ボランティア実習」「ボランティア演習」を設定し、新たな資格制度への対応を可能としている。

7月19日の教授会において、体育学部及びスポーツ文化学部並びに児童スポーツ教育学部では、CSC(Community Sport Coordinator)資格制度の創設について、まず、4つの資格(運動部活動コーディネーター、小学校体育活動コーディネーター、幼児運動遊びコーディネーター、障がい者スポーツコーディネーター)についてスタートさせ、前述の3科目の設定を教授会において決定した。今後、カリキュラムの見直し(2019年度改訂予定)の検討を加速させることになる。なお、保健医療学部については、AT(アスレティックトレーナー)資格をカリキュラム内で取得可能とする予定で、CSC資格制度については、当分の間、見送ることとなっている。

[エビデンス集・資料集=2-(2)-1]

表4 地域社会連携本部構成員(平成29年度) (敬称略)

役職等	氏名	備考
世田谷区スポーツ推進担当部スポーツ推進課長	渡邊 謙吉	
公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団事務局次長	中潟 信彦	
横浜市市民局スポーツ振興部スポーツ振興課長	守屋喜代司	
公益財団法人横浜市体育協会スポーツ振興部長	森田 尚隆	
横浜市青葉区総務部区政推進課長	鈴木 康介	
日本体育大学社会貢献推進機構連携推進担当	小林 正利	学生支援センター副センター長
日本体育大学社会貢献推進機構教育開発担当	三宅 良輔	学生支援センター長
日本体育大学社会貢献推進機構研究開発担当	野井 真吾	総合スポーツ科学研究センター長
スポーツプロモーション・オフィスオフィスディレクター	白旗 和也	体育学部教授

※ 地域教育活動委員会については前述。(表3-1)



## 【エビデンス集・資料編】

1. 2-(1)-1 地域社会連携本部規則
2. 2-(1)-2 協定書(写)
3. 2-(2)-1 教授会決定内容(7月19日)

## 【自己評価】

テーマ2は概ね満たしている。CSC資格制度を包含した新たな教育課程については、早急に検討を進め、2019年度からスタート予定である。

## 【改善・向上方策】

地域社会との連携体制が構築され、効果的な企画の展開に結びつけている。地域志向の人材育成と教育課程編成については、まず、4つの資格を創設して進めることが決定(7月19日開催の各学部教授会)した。今後は、新たに設置されたプロジェクトで検討を深め、できるだけ早期に事業を展開することが望まれる。と同時に、全学的な取組として地域貢献を通じて有為な人材育成を合せて実現するよう進めることが急務である。なお、地域社会貢献に関連したセミナーやワークショップ等さらを積極的に開催して、全学的な地域志向の意識醸成を深化させたい。

表5 CSC資格制度創設に係る検討プロジェクト

氏名	資格	所属等	備考
後藤 彰	教授	スポーツ文化学部(地域教育活動委員会)	プロジェクトリーダー、教職支援センター長
鈴木 一宏	教授	体育学部(教務委員会)	
依田 充代	教授	体育学部(教授委員会、地域研究活動委員会) ※平成30年4月スポーツマネジメント学部所属予定	
金本 良通	教授	児童スポーツ教育学部(教務委員会)	
岡本美和子	教授	児童スポーツ教育学部(教務委員会、地域教育活動委員会)	児童スポーツ教育学部学科長
荻 浩三	教授	体育学部(地域教育活動委員会)	アドミッションセンター長
伊藤 雅充	教授	体育学部(地域研究活動委員会)	コーチングエクセレンスセンター長
林 忠男	教授	体育学部(教務委員会)	教養教職科長
波多腰克晃	准教授	スポーツ文化学部(地域教育活動委員会)	ホームマネージャー(世田谷)
近藤 智靖	教授	児童スポーツ教育学部(地域教育活動委員会)	教職支援センター副センター長
田中 信行	教授	体育学部(地域研究活動委員会)	
佐野 昌行	准教授	体育学部(地域社会貢献活動委員会) ※平成30年4月スポーツマネジメント学部所属予定	アスレティックデパートメント長補佐
白旗 和也	教授	体育学部(地域社会貢献活動委員会)	SPOオフィスディレクター
三宅 良輔	教授	体育学部(教務委員会、地域社会貢献活動委員会)	学生支援センター長
菊名 博之	主事1級	学生支援センター学習支援部門(教務委員会)	部門長、事務長
佐藤 友美	主事2級	課程・評価課(教務委員会)	課長
恵 元	主事1級	IR室(地域教育活動委員会)	室長補佐
塚田 直彦	主事補	スポーツプロモーション・オフィス	主任、事務担当
小林 慶	主事補	学生支援センター学習支援部門	事務担当
大久保 瞳	書記	スポーツプロモーション・オフィス	事務担当

## 〈テーマ3 地域の課題解決に向けた効果的なプログラムの実施と貢献活動の推進〉

### 評価の観点

- (1) 地域課題の発掘・解消に資する調査・研究を促進し、課題解決に繋がる実効性のあるプログラムを開発
- (2) 人的・物的資源を活かした公開講座等の実施
- (3) ボランティア活動の推進と人材育成への取り組みの充実
- (4) 地域の美化、防災力の向上を図る取り組みの推進

### (評価のポイント)

- 3-(1) 東京都世田谷区及び青葉区を中心とした横浜市が抱える体育・スポーツに関する課題の抽出に努めるとともに、課題解決に資する研究活動を促進して健康の維持増進、競技力の向上、スポーツ文化の向上、生涯スポーツの進展等を意図したプログラムを検討、具体性のある企画を立案して実行しているか。
- 3-(2) 大学が有する人材等の資源を活用して、地域課題解決に資する公開講座等を開講しているか。
- 3-(3) 地域社会からのボランティア要請等に積極的に対応するとともに、それらの活動を教育課程との連動を図った人材育成に繋げているか。
- 3-(4) 地域社会と連携し、地域の美化に努めるとともに、地域住民を巻き込んだ防災力の向上に努めているか。

### 【事実の説明】

- (1) 研究活動に関しては、地域(世田谷区及び青葉区を中心とした横浜市)の課題抽出及び課題解消に向けた取り組みの開発を主な目的として次の5件の研究テーマ(予算額は各50万円)に取り組むこととした。
  - ① 地域住民の体力向上・健康増進
  - ② 地域住民のスポーツへの関心の向上
  - ③ 地域障害者スポーツ機会の向上と指導者支援
  - ④ 地域スポーツ指導者の意識・技術向上
  - ⑤ 学校体育の充実[エビデンス集・資料集=3-(1)-1、3-(1)-2]
- (2) 公開講座を7件、スポーツ教室2件、健康運動教室14件、指導講習会を6件、その他2件を表6のとおり開催した。この他、例年開催している体力測定を横浜・健志台キャンパスにおいて日体フェスティバル(11月3日～5日)と同時開催で行い、1,109名の参加者があった。また、東京・世田谷キャンパスでは、その2週間前(10月21日・22日)に実施し211名の参加者があった。なお、昨年同様、小学生を対象とした日体大スポーツフェスタを12月10日(日)に開催。207名の参加者があった。  
[エビデンス集・資料集=3-(1)-1、3-(2)-1、3-(2)-2]
- (3) ボランティア対応の活性化・迅速化を図るために構築した人材バンクについては、現在(2017年12月27日現在)419名(前年比-13名)の学生が登録を済ませ、1月から表7に記載したボランティア活動への対応を行っている。また、各方面からの要望・依頼に基づき、表8のとおり体育・スポーツ活動への支援、表9のとおり施設開放を実施している。

[エビデンス集・資料集＝3-(1)-1、3-(3)-1、3-(3)-2、3-(3)-3、3-(3)-4、3-(3)-5]

(4) 美化運動については、東京・世田谷、横浜・健志台の両キャンパス周辺で 10 回実施しており、キャンパス周辺地域以外でも、渋谷や海浜実習の実施場所である千葉県の上野海岸においても清掃活動を行った。また、防災訓練については、昨年に引き続き横浜・健志台キャンパスにおいて実施し、253 名の参加があった。東京・世田谷では地域合同総合消防訓練に協力した。

[エビデンス集・資料集＝3-(1)-1]

表6 公開講座・スポーツ教室等の実施状況(1月～12月)

No.	実施日	種別	実施内容	参加人数
1	平成 29 年 2 月 11 日(土)	健康運動教室	膝痛さようなら体操教室(健志台)	21 名
2	平成 29 年 2 月 11 日(土)	スポーツ教室	ヤングウインターキャンプ・バレーボール(世田谷)	44 名
3	平成 29 年 1 月～3 月	スポーツ教室	柔道教室(健志台) 計 12 回	25 名
4	平成 29 年 5 月 20 日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	20 名
5	平成 29 年 5 月 27 日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(健志台)	13 名
6	平成 29 年 6 月 3 日(土)	指導講習会	救命蘇生法講習会(世田谷)	15 名
7	平成 29 年 6 月 11 日(日)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	16 名
8	平成 29 年 6 月 11 日(日)	指導講習会	筋トレのすすめ～筋トレ初心者のためのダンベル、バーベルを使ったエクササイズ(世田谷)	18 名
9	平成 29 年 6 月 24 日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	22 名
10	平成 29 年 6 月 25 日(日)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	19 名
11	平成 29 年 7 月 1 日(土)	公開講座	女性の健康とスポーツ傷害・事故の予防(健志台)	184 名
12	平成 29 年 7 月 2 日(日)	健康運動教室	肩痛さようなら体操教室(健志台)	10 名
13	平成 29 年 7 月 8 日(土)	その他	からだのかたちと立位・歩行動作をはかる(健志台)	37 名
14	平成 29 年 7 月 8 日(土)	指導講習会	水辺の安全教室(世田谷)	10 名
15	平成 29 年 7 月 15 日(土)	その他	からだのかたちと立位・歩行動作をはかる(健志台)	33 名
16	平成 29 年 7 月 22 日(土)	公開講座	第 26 回幼児教育講座(世田谷)	40 名
17	平成 29 年 9 月 2 日(土)	公開講座	これもまた日体大の力！脳トレ(世田谷)	5 名
18	平成 29 年 9 月 16 日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	20 名
19	平成 29 年 9 月 17 日(日)	指導講習会	救命蘇生法講習会(健志台)	51 名
20	平成 29 年 9 月 24 日(日)	指導講習会	筋トレのすすめ～トレーニング実践者向けベーシックエクササイズ、クイックリフトを極める-(世田谷)	18 名
21	平成 29 年 10 月 1 日(日)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	21 名
22	平成 29 年 10 月 7 日(土)	公開講座	これもまた日体大の力！脳トレ(世田谷)	9 名
23	平成 29 年 10 月 15 日(日)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	17 名

24	平成 29 年 10 月 21 日(土)～ 22 日(日)	その他	日本体育大学体力測定(世田谷)	211 名
25	平成 29 年 10 月 28 日(土)	公開講座	これもまた日体大の力！脳トレ(世田谷)	5 名
26	平成 29 年 10 月 29 日(日)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(健志台)	25 名
27	平成 29 年 10 月 29 日(日)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	17 名
28	平成 29 年 11 月 3 日(金)～5 日(日)	その他	日本体育大学体力測定(健志台)	1,109 名
29	平成 29 年 11 月 11 日(土)	公開講座	これもまた日体大の力！脳トレ(世田谷)	4 名
30	平成 29 年 11 月 19 日(日)	公開講座	子どものこころ、親のこころ — 一家庭や学校における気になる子どもの理解と支援 —	20 名
31	平成 29 年 11 月 26 日(日)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	26 名
32	平成 29 年 12 月 2 日(土)	指導講習会	筋トレのすすめ～初心者・女性向け～ 筋トレの基本を学ぶ～(世田谷)	8 名
33	平成 29 年 12 月 10 日(日)	スポーツ教室	日体大スポーツフェスタ 2016(東京・世田谷)	207 名
34	平成 29 年 12 月 16 日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	22 名

表7 人材バンク等により対応したボランティア活動(1月～12月)

No.	実施日	依頼先・実施内容	対応学生等	派遣人数
1	平成 29 年 1 月 9 日	株式会社日テレイベント チャレスポ！TOKYO	人材バンク	4 名
2	平成 29 年 2 月 5 日	等々力保育園さくらんぼ組 クラス懇親会	時本久美子教授、保育 研究サークル・幼児教育 保育コース学生	6 名
3	平成 29 年 2 月 18 日	いずみ保育園父母会 餅つき大会	学友会相撲部	3 名
4	平成 29 年 3 月 28 日	中国青年公益事業交流団(宋慶齡基金会) 日体大施設視察	スポーツプロモーション・ オフィス	1 名
6	平成 29 年 4 月 16 日	桜新町商店街 さくらまつり	深沢寮生 和泉寮生	20 名
7	平成 29 年 6 月 3 日	世田谷区立千歳中学校 学生生活支援員(運動会)	人材バンク	2 名
8	平成 29 年 7 月 30 日	等々力の家(老人ホーム) 平成 29 年度納涼祭	人材バンク	2 名
9	平成 29 年 8 月 5 日	社会福祉法人泉会 泉の家 販売会補助(せたがやふるさと区民まつり)	人材バンク	1 名
10	平成 29 年 10 月 22 日	世田谷区立深沢児童館 第 9 回こどものまちフェスティバル	深沢寮生	8 名
11	平成 29 年 5 月～10 月	世田谷区教育委員会 世田谷区立小学校 川場移動教室補助員	人材バンク	延べ 6 名
12	平成 29 年 10 月～ 12 月	神奈川県立田奈高等学校 学習支援ボランティア	人材バンク	1 名

13	平成 29 年 4 月～ 平成 29 年 12 月	目黒区教育委員会 目黒区立学校 自然宿泊体験教室引率指導員	人材バンク	19 名
14	平成 29 年 1 月～ 平成 30 年 3 月(通年)	世田谷区教育委員会 世田谷区教育活動支援事業	人材バンク	延べ 74 名
15	平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月(通年)	東京都教育相談センター 学生アドバイザースタッフ	人材バンク	1 名
16	平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月(通年)	社会福祉法人泉会 泉の家 ボランティア	人材バンク	1 名
17	平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月(通年)	よこはま教育実践ボランティア 横浜市教育委員会 横浜市立学校	人材バンク	3 名

表8 体育・スポーツ活動への支援状況(1月～12月)

No.	実施日	依頼先・実施内容	対応学生等	派遣人数
1	平成 29 年 1 月 19 日	私立用賀なのはな保育園(日体大 3B03 体育館) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	49 名
2	平成 29 年 2 月 17 日	大田区立貝塚中学校 スポーツ学生と交流授業	学友会陸上部	4 名
3	平成 29 年 2 月 23 日	日本財団パラリンピックサポートセンター 「あすチャレ! 運動会」モニター体験	学友会ハンドボール部	60 名
4	平成 29 年 3 月 27 日	中央区平成 28 年度スポーツ指導者養成 セミナー フォロー研修講師	富田幸博教授	1 名
5	平成 29 年 4 月 9 日	フラワーネックレス青葉 2017 オープニングイベント	ダブルダッチサークル	5 名
6	平成 29 年 4 月 15 日	ハッピーテラス本八幡(発達障害児サービス) ダブルダッチに挑戦しよう!	ダブルダッチサークル	5 名
7	平成 29 年 4 月 25 日	目黒区 平成 29 年度 部活動外部指導員等全体研修(春季)	南部さおり准教授	1 名
8	平成 29 年 4 月 28 日	立川市立第一小学校平成 29 年度立川市公立 学校体育実技研究会における補助等	教職教育研究室 ゼミ学生	1 名
9	平成 29 年 5 月 22 日	世田谷区立深沢保育園(日体大ガレリア) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	47 名
10	平成 29 年 5 月 26 日	横浜市立日野中央高等特別支援学校 生涯スポーツ体験授業	ダンス部 体操部	10 名
11	平成 29 年 5 月 29 日	世田谷区立深沢保育園(日体大ガレリア) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	48 名
12	平成 29 年 5 月 28 日	横浜市中心身障害児を守る会連盟 第 34 回横浜市ふれあいスポーツ大会	相撲部	8 名
13	平成 29 年 7 月 2 日	トラストガーデン等々力(老人ホーム) 新体操(ポール・リボン)デモンストレーション	村田由香里助教 新体操部	3 名
14	平成 29 年 7 月 7 日	世田谷区立深沢保育園(日体大 3B03 体育館) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	47 名
15	平成 29 年 7 月 8 日	世田谷区議会 日本と台湾の中学生による バスケットボールの親善試合の審判	バスケットボール部	3 名

16	平成 29 年 7 月 13 日	世田谷区立駒沢保育園 駒沢わんぱく相撲	相撲部	2 名
17	平成 29 年 7 月 30 日	たけのごぐみ 親子でうたっておどろろ	バレーボール部男子	10 名
18	平成 29 年 8 月 31 日	サッカーワールドカップ予選ハブリックビューイング 「アジア最終予選—ROAD TO RUSSIA—」	スポーツ経営管理学ゼミ 国語科教育ゼミ 体育管理研究サークル	17 名
19	平成 29 年 9 月 1 日	相模原市立麻溝こどもセンター 放課後子ども教室「ダブルダッチを楽しもう」	ダブルダッチサークル	5 名
20	平成 29 年 9 月 19 日 21 日	世田谷区立深沢保育園 運動会に向けてのなわとび	ダブルダッチサークル	10 名
21	平成 29 年 9 月 19 日	世田谷区立玉川保育園 ダブルダッチ披露、体験	ダブルダッチサークル	10 名
22	平成 29 年 9 月 26 日	目黒区 平成 29 年度 部活動外部指導員等全体研修(秋季)	伊藤雅充教授	1 名
23	平成 29 年 10 月 3 日	世田谷区教育委員会 世田谷区中学校陸上競技大会補助員	陸上競技部	17 名
24	平成 29 年 10 月 8 日	トラストガーデン等々力 日本の国技・相撲を見て楽しんで頂く	相撲部	3 名
25	平成 29 年 10 月 10 日	アルパルク東京 開幕戦ハーフタイムショー(新体操)	新体操部	19 名
26	平成 29 年 10 月 24 日～ 26 日	世田谷区教育委員会 世田谷区小学校連合運動会補助員	陸上競技部 児童スポーツ教育学部	79 名
27	平成 29 年 10 月 29 日	尾山台地域体育館運営協議会 体育館まつり	ダブルダッチサークル	5 名
28	平成 29 年 10 月中旬 ～平成 30 年 3 月中旬	横浜市立桂小学校 健康体力づくり	人材バンク	1 名
29	平成 29 年 11 月 14 日	私立駒沢どろんこ保育園(日体大 5105 体育館) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	10 名
30	平成 29 年 11 月 15 日	第 55 回体育研究発表実演会 地域住民招待(1,126 名)	スポーツプロモーション・ オフィス	—
31	平成 29 年 11 月 22 日	世田谷区立深沢保育園(日体大 3B03 体育館) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	43 名
32	平成 29 年 11 月 24 日	世田谷区立深沢保育園(日体大 3B03 体育館) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	50 名
33	平成 29 年 11 月 26 日	青葉区民マラソン 運営補助	陸上競技部 保健医療学部 他	100 名
34	平成 29 年 12 月 2 日	マルシェぶらり～と青葉台 2017 青葉台商店会	ダブルダッチサークル ブラスバンド部	19 名
35	平成 29 年 12 月 2 日	ハッピーテラス本八幡(発達障害児サービス) ダブルダッチに挑戦しよう!	ダブルダッチサークル	4 名
36	平成 29 年 12 月 3 日	青葉区政推進課企画調整係 健康をテーマとした6大学連携講座	伊藤譲教授	1 名
37	平成 29 年 12 月 5 日	私立駒沢どろんこ保育園(日体大 5105 体育館) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	10 名

38	平成 29 年 12 月 13 日	私立用賀なのはな保育園 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	49 名
39	平成 29 年 12 月 28 日 29 日	一般社団法人シャイニング イヤードマラソン in 昭和記念公園	人材バンク	2 名
40	平成 29 年 1 月～ 平成 30 年 3 月(通年)	中央区 子どもの得意スポーツ発見事業	児童スポーツ教育学部	延べ 172 名
41	平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月(通年)	平成 29 年度神奈川県立学校 部活動支援学生ボランティア	人材バンク	1 名
42	平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月(通年)	世田谷区立小ミニバスケットボールクラブ 「中丸ダンクス」のコーチ	人材バンク	1 名

表9 施設開放(1月～12月)

No.	実施日	依頼先	内 容	開放施設
1	平成 29 年 1 月 8 日	認定 NPO 法人スペシャル オリピクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
2	平成 29 年 1 月 22 日	認定 NPO 法人スペシャル オリピクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
3	平成 29 年 2 月 12 日	認定 NPO 法人スペシャル オリピクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
4	平成 29 年 2 月 19 日	一般社団法人日本女性 心身医学会	日本女性心身医学会	2503、2504、2505 世:各会議室
5	平成 29 年 2 月 26 日	認定 NPO 法人スペシャル オリピクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
6	平成 29 年 3 月 1 日	日体幼稚園	卒業式	世:記念講堂
7	平成 29 年 3 月 3 日～ 平成 29 年 3 月 5 日	幼少児健康教育学会	日本幼少児健康教育学会第 35 回大会	世:記念講堂 世:1201 教室 世:1202 教室
8	平成 29 年 3 月 12 日	認定 NPO 法人スペシャル オリピクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
9	平成 29 年 3 月 16 日 平成 29 年 3 月 17 日	日体柔整専門学校	卒業式	世:記念講堂 世:3B03 体育館
10	平成 29 年 3 月 22 日	公益財団法人日本財団 パラリンピックサポートセンター	イベント	世:記念講堂
11	平成 29 年 3 月 25 日	日本水中スポーツ学会	講演会	健:1301 教室
12	平成 29 年 3 月 26 日	認定 NPO 法人スペシャル オリピクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
13	平成 29 年 4 月 9 日	認定 NPO 法人スペシャル オリピクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
14	平成 29 年 4 月 10 日 平成 29 年 4 月 11 日	日体幼稚園	入園式	世:記念講堂 世:N レストラン
15	平成 29 年 4 月 21 日～ 平成 29 年 4 月 23 日	玉川消防少年団	平成 29 年度玉川消防少年団 入卒団式	世:記念講堂 世:N レストラン 世:N ラウンジ他

16	平成 29 年 4 月 9 日	認定 NPO 法人スペシャル オリμπクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
17	平成 29 年 4 月 23 日	認定 NPO 法人スペシャル オリμπクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
18	平成 29 年 5 月 14 日	認定 NPO 法人スペシャル オリμπクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
19	平成 29 年 5 月 28 日	認定 NPO 法人スペシャル オリμπクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
20	平成 29 年 6 月 11 日	認定 NPO 法人スペシャル オリμπクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
21	平成 29 年 6 月 25 日	認定 NPO 法人スペシャル オリμπクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
22	平成 29 年 7 月 9 日	認定 NPO 法人スペシャル オリμπクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
23	平成 29 年 7 月 18 日～ 平成 29 年 7 月 21 日	学友会公式野球部	青葉ベースボールフェスタ (交流戦/地域住民無料観戦)	健:野球場
24	平成 29 年 7 月 23 日	認定 NPO 法人スペシャル オリμπクス日本・東京	体操競技プログラム練習	世:体操場
25	平成 29 年 7 月 23 日	たけのこぐみ	親子参加型コンサート	健:第三体育館 I
26	平成 29 年 8 月 4・5 日	公益財団法人 パラリンピックサポートセンター	イベント	世:メインアリーナ 記念講堂 他
27	平成 29 年 8 月 27 日	鴨志田西団地テニス同好会	テニスチーム対抗イベント	健:テニスコート
28	平成 29 年 9 月 4・5 日	東京消防庁玉川消防署	自衛消防活動技術大会開催	世:グラウンド バイク置き場
29	平成 29 年 9 月 10 日	認定 NPO 法人 スペシャルオリμπクス日本・東京	体操競技プログラム	世:体操場
30	平成 29 年 9 月 12・13 日	日体幼稚園	親子でプール	世:屋内プール
31	平成 29 年 9 月 13 日	日本教育工学会	学会研究会(シンポジウム)	世:記念講堂
32	平成 29 年 9 月 20 日	日体幼稚園	親子でプール	世:屋内プール
33	平成 29 年 9 月 24 日	認定 NPO 法人 スペシャルオリμπクス日本・東京	体操競技プログラム	世:体操場
34	平成 29 年 10 月 7 日	グリーンフィールド上野毛保育園	運動会	世:体操場 (中体育館)
35	平成 29 年 10 月 8 日	認定 NPO 法人 スペシャルオリμπクス日本・東京	体操競技プログラム	世:体操場
36	平成 29 年 10 月 14 日	世田谷区立深沢保育園	運動会	世: 記念講堂
37	平成 29 年 10 月 21 日	駒沢どろんこ保育園	運動会	世:体操場 (中体育館)
38	平成 29 年 10 月 21 日	日本質的心理学会	シンポジウム	世:2205 教室



39	平成 29 年 10 月 22 日	認定 NPO 法人 スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世:体操場
40	平成 29 年 11 月 3 日	社会福祉法人世田谷共育舎	職員研修	世:記念講堂
41	平成 29 年 11 月 12 日	認定 NPO 法人 スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世:体操場
42	平成 29 年 11 月 24・26 日	東京消防庁玉川消防署	第 67 回はたらく消防の写生会 及び表彰式	世:記念講堂
43	平成 29 年 11 月 26 日	認定 NPO 法人 スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世:3B03 体育館
44	平成 29 年 12 月 8～10 日	子どものからだと心・連絡協議会	第 39 回子どものからだと心 全国研究会議	世:記念講堂 1201 教室 他
45	平成 29 年 12 月 10 日	認定 NPO 法人 スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世:体操場
46	平成 29 年 12 月 16・17 日	特定非営利活動法人 日本パラ・パワーリフティング連盟	第 18 回全日本パラ・パワーリ フティング選手権大会	世:記念講堂 3B03 体育館
47	平成 29 年 12 月 23・24 日	日本体育大学学友会剣道部	第 14 回全国中学生剣道大会 学生審判講習会	健:米本記念 体育館
48	平成 29 年 12 月 24 日	認定 NPO 法人 スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世:体操場

※ 上記表9の施設開放(無料)以外に、日本体育大学施設の目的外使用規程第6条第2号～第4号に基づき、施設使用料が減免となっている施設貸出しについては、東京・世田谷キャンパスで120件(資料表9-A)、横浜・健志台キャンパスでは125件(資料表9-B)となっている。

表10 地域の美化運動・防災訓練等(1月～12月)

No.	実施日	実施内容及び場所	実施担当者	派遣人数
1	平成 29 年 1 月 21 日	第 5 回クリーン大作戦(平成 28 年度) 世田谷、健志台	クラブ・サークル	97 名 (25 団体)
2	平成 29 年 4 月 22 日	桜新町親和会 ゴミゼロデー、桜の花びら清掃	深沢寮生 和泉寮生	6 名
3	平成 29 年 5 月 20 日	第 1 回クリーン大作戦 世田谷、健志台	クラブ・サークル	86 名 (21 団体)
4	平成 29 年 6 月 4 日	深沢地区ゴミ減量・リサイクル推進委員会 古着・古布回収	深沢寮生	10 名
5	平成 29 年 6 月 24 日	第 2 回クリーン大作戦 世田谷、健志台	クラブ・サークル	118 名 (21 団体)
6	平成 29 年 7 月 8 日	大クリーン大作戦、第 1 弾 in 岩井海岸 千葉県南房総市岩井海岸清掃	クラブ・サークル	88 名 (15 団体)
7	平成 29 年 7 月 23 日	等々力の家 平成 29 年度第 1 回地域合同総合消防訓練	深沢寮生 和泉寮生	10 名
8	平成 29 年 9 月 10 日	グリーンヒル鴨志田西団地 環境美化作業	本学教職員	30 名
9	平成 29 年 10 月 14 日 ～15 日	防災訓練 in 日本体育大学	スポーツプロモーション・オフィス	5 名

10	平成 29 年 11 月 18 日	大クリーン大作戦 第 2 弾 in 渋谷 渋谷駅周辺～美竹公園内	クラブ・サークル	143 名 (17 団体)
11	平成 29 年 11 月 19 日	深沢地区ゴミ減量・リサイクル推進委員会 古着・古布回収	深沢寮生	10 名
12	平成 29 年 11 月 25 日	桜新町親和会 ゴミゼロデー、桜並木清掃	深沢寮生 和泉寮生	5 名
13	平成 29 年 12 月 2 日	第 4 回クリーン大作戦 世田谷、健志台	クラブ・サークル	103 名 (25 団体)
14	平成 29 年 12 月 3 日	グリーンヒル鴨志田西団地 環境美化作業	本学教職員	38 名

### 【エビデンス集・資料編】

1. 3-(1)-1 平成 29 年度社会貢献事業報告書
2. 3-(1)-2 平成 29 年度研究活動中間報告
3. 3-(2)-1 公開講座パンフレット・講義要項等
4. 3-(2)-2 公開講座実施報告書
5. 3-(3)-1 社会貢献事業派遣受付簿
6. 3-(3)-2 平成 29 年度人材バンク学科別登録状況
7. 3-(3)-3 日本体育大学施設の目的外使用規程
8. 3-(3)-4 施設開放(1月～7月)  
東京・世田谷キャンパス(表9-A)、横浜・健志台キャンパス(表9-B)
7. 3-(3)-5 幼稚園・保育園における活動補助者事業の実施報告書

### 【自己評価】

テーマ3は満たしている。

### 【改善・向上方策(将来計画)】

研究活動については、地域の課題の抽出とその課題解決に資するように展開することを心がけるとともに、それらの成果に基づいたプログラムの企画・立案を積極的に推進し、全学的に公募した公開講座やスポーツ教室等と合わせて実施する。また、人材バンクへの登録者増を図るためにセミナー等を開催するなどした周知活動を活性化する。なお、美化運動の全学的な取り組みを推進して、地域社会貢献活動への参画意識の醸成を図るべきである。

以上